

帯広市 市民提案型協働のまちづくり支援事業

【Motto おび広がる プロジェクト】 令和8年度実施事業申込書(ステップアップ部門)

申込日 令和 7年 〇月 〇日

1. 団体について(該当項目に☑印)

(1)団体名/設立年月	〇〇〇〇〇〇		令和 〇年 〇月
(2)団体の所在地等 ※事務所や HP がない場合は記載不要	〒/住所 〇〇〇-〇〇〇 帯広市〇条〇丁目〇番地 電話番号 〇〇-〇〇-〇〇 E-mail ×××××@××××× HP ××××.×××××		
(3)代表者 及び 連絡担当者	代表者氏名 〇〇 〇〇 役職 代表	連絡担当者氏名 ×× ××	役職 副代表
(4)連絡先	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 住所 帯広市〇条〇丁目〇番地 電話番号 〇〇-〇〇-〇〇 E-mail 同上	〒 住所 全て左に同じ 電話番号 E-mail	
(5)会費の有無	☑有 (〇〇 円 / ㊦・月・1回・その他) □無		
(6)構成人数、 主な構成員 ※市内在住・在勤・在学者は 「氏名」の左にチェック	〇 名 (うち市内在住・在勤・在学者 × 名) ☑氏名 △△ △△ ☑氏名 ▼▼ ▼▼ ☑氏名 ◆◆ ◆◆ □氏名 ☆☆ ☆☆		
(7)団体の目的	地域の活性化に向け、域内で市民活動に取り組む方々の悩みや課題を解決するためのサポートやアドバイスをを行うことを目的としています。		
(8)活動内容 活動実績	発足後、主に以下の活動に取り組んできました。 ・月1回のミーティング(メンバー間の情報交換) ・SNS を活用した各団体の相談対応 ※特に、色々な助成制度の案内や、メンバーの増やし方のアドバイスが多かったです ・行政や社会福祉協議会の担当者を不定期で訪問し、情報収集・意見交換 ・帯広に限らず、十勝・道東・北海道単位での団体情報の収集 ・市民活動に関わる各種講座・講演会への参加 ※自分たちで開催したことはありませんが、代表が行政に講師で招かれたことがあります。 ・団体と団体(あるいは個人)をつなぎ、活動の活性化につなげる取り組み 今のところは地道な取り組みが続いていますが、新聞等で取り上げていただくこともあり(〇年×月△日□□新聞)、少しずつ認知されてきたかと思います。 私たちの受賞歴等は特にありませんが、サポートした団体(〇〇)が令和2年に、北海道の××賞を受賞されたこともあり、励みになっています。 現在は、新たな取り組みとして、各学校に対して出前講座等のニーズなどについて、直接お伺いしながら情報収集している最中です。		

2. 提案事業について

(1) 提案事業名 (テーマ)	Motto おびひろの市民活動を盛り上げるプロジェクト
(2) 提案事業の 概要	<u>なぜ、応募しようと思ったのか？</u> (解決したい課題または把握している市民ニーズなど) 帯広市には、一般社団法人、サークル(以下、団体)が沢山ありますが、自分の所属団体以外の情報はなかなか入手できず、新しく市民活動を始めたい人や、他の団体との連携を考えている団体、団体に関わりたい学校等が情報収集に苦労しています。 帯広市ホームページ内には、色々な団体の情報を掲載している「市民協働アクション」というものがありますが、私たちが市と連携し、ここを充実させ、活用した取り組みを進めることで、この課題を解決できるのではないかと考えました。 <u>何を、どのようにやるのか？</u> (事業の内容・回数・参加人数、実施方法、活動スケジュールなど) 1. 「市民協働アクション」の強化(秋までをメインとしつつ通年で実施) ・すでに掲載している団体への再取材を行い、掲載内容のボリュームアップを図ります。 ・新たに掲載を希望する団体の発掘を行います。 ・協力してくれた団体の情報は、私たちの SNS の機能を強化し、そちらでも発信します。 2. 市民協働サミットの開催(年1回、秋頃開催、会場はとかちプラザ、50人参加を想定) ・「市民協働アクション」に掲載している団体が一堂に会して、日頃の活動の課題や新しく考えている取り組みなどを意見交換する場を設けて、各団体の今後のモチベーションアップを図るほか、同時開催で、外部の有識者を招き、「団体の連携」「団体のあり方」といったテーマで講演をいただき、サミットにも参加いただいて有効なアドバイスをいただきます。 3. 学校への出前授業の充実(サミット開催以降に試行実施) ・学校への出前授業を行いたい団体と、受け入れを希望する学校の仲介を行います。 <u>誰と、どう力を合わせるのか？</u> (市や他の団体等と連携協働して取り組みたいこと) まずは、「市民協働アクション」を担当されている方の意見を伺い、できる範囲で内容の充実を図らせていただきたいと思います。 サミットにおいては、市を含め、色々な方に周知のご協力をいただきたいと思います。 また、ビジネス展開の可能性も含め、企業の方々にも見学に来ていただきたいと思います。 <u>補助終了後はどうするのか？</u> (将来の展望、目指す姿) 継続的に活動し、色々な団体が活発で充実した取り組みをできるよう支えていきたいです。 そうすることで、誰もが活躍できるまちの実現につながってくるのではないかと考えます。 その中で、協賛してくれる方、新たな助成金の獲得なども併せて取り組んでいきます。
(3) その他、事業の独自性や団体の強みなどアピールしたい点	私たちが知る範囲ではありますが、前頁に書いた1・2・3の事業どれも前例がないようですので、帯広の市民活動を盛り上げる方法としては、チャレンジしてみる価値はあると思います。 当団体のメンバーは、全員が他の団体も掛け持ちしている「市民活動好き」なので、今回の提案事業は、今までお会いしたことがない方々と出会える機会となりますので、私たち自身、楽しく取り組めるのではないかと期待しているところです。 まだ具体的な活動実績はありませんが、みんなそれぞれの団体で運営にも関わっているの、ノウハウはあります。 また、「市民協働アクション」の充実は、恐らく(掲載)できることとできないことがあり、市の職員の皆さんとの話し合いが不可欠と考えていますので、ご協力いただけると幸いです。 団体のサポートは私たちにお任せください！

3. 収支予算について

(1) 収入の内訳(会費、寄付金、補助金、自己負担 など)

項 目	内 容	予 算 額
帯広市補助金	Motto おび広がるプロジェクト補助金	200,000
会費	年会費の一部を充当	5,000
自己負担	上記で不足する部分を自己負担	5,000
合 計		① 210,000

(2) 支出の内訳(消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、会場使用料、保険料 など)

項 目	内 容	予 算 額
消耗品費	事務用品代	20,000
印刷製本費	サミットで配布するパンフレットおよび周知用チラシ代	50,000
通信運搬費	サミットの案内に係る郵便料金	30,000
会場使用料	とかちプラザ(備品借用料含む)	20,000
報償費	有識者への謝礼(交通費・宿泊費込)	30,000
保険料	ボランティア保険	5,000
使用料	団体の公式 SNS アカウント取得費用	55,000
合 計		② 210,000

※事業申込書の記入欄に書き切れない場合は、任意の用紙をご用意いただき添付してください。

※収支予算の合計額(上記の①と②)が同額となるようにご注意ください。

添付書類

- ☒ 定款・規約・会則等の写し ※作成している団体のみ
- ☒ 会報やパンフレット、写真などこれまでの活動がわかるもの
- ☒ 講師の経歴等がわかる資料 ※外部講師の活用を予定している団体のみ

申請者は、帯広市暴力団排除条例第 2 条第 1 号に規定する暴力団、同条第 2 号に規定する暴力団員又は同条第 3 号に規定する暴力団関係事業者ではないことを誓約します。

申請者がこれらの者に該当することが判明した場合には、補助金等の交付の決定の全部又は一部が取り消されても、何ら異議の申立てを行いません。

また、上記の誓約内容を確認するため、帯広市が他の官公署に照会を行うことについて承諾します。